



会 期 2016年1月9日(土)～2月28日(日)

開館時間 10:00～18:00 (金・土曜日は20:00まで) *入場受付は閉館の30分前まで

休館日 2月1日(月)、2月15日(月)

観覧料 一般 1200(1000)円、大学生 700(500)円

※小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

※市内在住65歳以上の方は一般料金より2割引

※()内は前売り、団体20名以上の方の料金

※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(2015年12月23日まで)、およびローソンチケット(Lコード:35558)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(2016年2月28日まで)にて販売。

☆きもの割引 きものを着てご来館の方は観覧料2割引

☆ごひいき割引 本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料2割引

主 催 千葉市美術館

協 力 日本航空 高久国際奨学財団

大英博物館、シカゴ美術館、ホノルル美術館など海外から貴重な浮世絵が里帰りする、日本初の初期浮世絵展

展覧会概要

新興都市江戸に暮らす人々が、太平の世に自信と愛着を深めていく17世紀後半、浮世絵の始祖と位置付けられる菱川師宣^{ひしかわもろのぶ}(?-1694)が活躍を始めます。流行の衣裳に身を包む美人たち、人々を熱狂させた歌舞伎、そして江戸における日々の愛すべき暮らしなど、今に生きる楽しみを積極的に肯定する浮世絵は、時代を謳歌する気分とも相俟って、高い人気を得ることになりました。

浮世絵は、木版画として広く人々に普及しましたが、量産による値段の安さ、また当世の流行を即時に取り入れた木版画制作の速さという特徴が、庶民に至るまで気軽に絵を楽しむことができるという世界でも稀な文化状況を育んだのです。一方で肉筆画、すなわち日本絵画の伝統的な技法で描く屏風や掛軸、絵巻物などの形式でも制作され、富裕層の需要も満たしていたのです。

どのように浮世絵は生まれ、発展し、なぜ近代に至るまでの高い人気と需要を継承できたのでしょうか。本展覧会では、大英博物館、シカゴ美術館、ホノルル美術館をはじめ海外からの里帰り品を含めた版画・肉筆画の名品約200点により、浮世絵草創期の世界を紹介、版と筆それぞれの表現の魅力を探ります。新しい都市の活況を伝え、時代のダイナミックな動きに呼応して、素朴ながらも力強い存在感を発揮した初期浮世絵の美を十分ご堪能いただけることでしょう。近世初期風俗画から菱川師宣前後の浮世絵誕生の状況、鳥居清信^{とりいきよのぶ}(1664-1729)や鳥居清倍^{とりいきよまさ}(生没年不詳)が歌舞伎絵界に圧倒的な地位を築く初期の鳥居派、浮世絵界のトリック・スター奥村政信^{おくむらまさのぶ}(1686-1764)や石川豊信^{いしかわとよのぶ}(1711-85)の多様な活躍、そして高度な多色摺木版画技法、すなわち錦絵が誕生する鈴木春信(1725?-70)の登場までを通観する、日本初の総合的な初期浮世絵の展覧会です。

みどころ

・日本初の総合的な初期浮世絵展

これまでも単一館のコレクションを紹介する展覧会*は開催されたことがありますが、本展のように様々な所蔵元からお借りした初期浮世絵をご紹介します、総合的な展覧会は日本初の試みとなります。

*1972年「シカゴ美術館浮世絵展」(京都国立近代博物館)

・世界各地から貴重な浮世絵が里帰り

初期の浮世絵は現存する作品が少なく、世界に1～2点というものがほとんどです。とくに初期浮世絵は国外のコレクターが多く、日本での所蔵点数は大変少ないものです。本展では、大英博物館からシカゴ美術館、ホノルル美術館、シアトル美術館、そして個人所蔵者まで、国外から貴重な初期作をお借りしました。この機会をお見逃しなく！

・版画と版木、半世紀ぶりの再会

浮世絵を摺る際の版木は消耗品のため、その多くは再利用されたり、古材として使われるなど、版木として現存するものは多くありません。大英博物館所蔵の初代鳥居清倍「初代市川団蔵と初代大谷広次の草摺曳」には、めずらしく版木が残されており、寛永寺の引き戸として使われていたものが、現在は東京国立博物館に所蔵されています。本展ではこの版画と版木をあわせて公開します。2点が揃って展示されるのは、1964年にオリンピック東京大会を記念して開催された展覧会*以来ほぼ半世紀ぶりとなります。

*1964年「浮世絵・風俗画名作展」(日本橋・白木屋)

・知られざる旧蔵者たち

美術品はさまざまな所有者を経て、今日に伝わってされています。作品はもとより、その所蔵者が誰であったかというのにも、興味深い視点です。本展に出品する作品では、「桜狩遊楽図屏風」(重要美術品)は、画家の岸田劉生旧蔵として知られています。その他にも、アーネスト・サトウ(駐日英国大使)、アーサー・モリソン(作家)、ジェームズ・ミッチェナー(作家)といった著名人が所蔵していた作品も公開されます。

展覧会オリジナル商品

「初期浮世絵展一版の力・筆の力」では、千葉市内の和菓子屋「虎屋」とコラボレーションし、「浮世絵どらやき」を販売いたします。展覧会のメインビジュアルである「二代目市川団十郎の虎退治」から、団十郎の顔を焼き印に起こしました。ミュージアムショップにて販売、レストランかぼちゃわいんでは抹茶とセットでお召し上がりいただけます。この機会にぜひご賞味ください。



完成イメージ

関連企画

● 新春の獅子舞

1月9日(土)展覧会初日の開館時には、8階会場入口で獅子舞がお迎えます。
出演:登渡神社登戸神楽囃子連

● 特別企画「寛文美人から元禄美人へー髪結いの実演と解説」

解説:村田孝子(ポーラ文化研究所)
結髪師:林照乃
1月16日(土)／14:00～(13:30開場予定)／11階講堂にて
観覧無料
※実演中の会場の出入りは自由です。
※混雑状況によって入場を制限する場合がございます。

● 講演会

「愛しい初期浮世絵版画―美しさ・力強さ・ユーモア―」

講師:武藤純子(清泉女子大学兼任講師・文学博士)
2月6日(土)／14:00～(13:30開場予定)／11階講堂にて
先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布)／聴講無料

● ギャラリートーク

担当学芸員によるー1月13日(水)／14:00～
ボランティアスタッフによるー会期中の毎週水曜日(1月13日を除く)
※水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。
※混雑時には中止する場合があります。

● 美術館ボランティアスタッフによる多色摺ワークショップ

1月24日(日)／10:30～12:00、13:30～15:00／1階エントランス
先着100名／参加無料
※時間内随時受付

● 市民美術講座

「千葉で生まれた浮世絵の始祖 菱川師宣」
講師:田辺昌子(当館副館長兼学芸課長)
2月7日(日)／14:00～(13:30開場予定)／11階講堂にて
先着150名／聴講無料

同時開催

「新寄贈寄託作品展―花づくし」

※「初期浮世絵展―版の力・筆の力―」をご観覧の方は無料

関連企画

■市民美術講座

「花づくし―新寄贈寄託作品の魅力」

講師：松尾知子(当館学芸係長)

2月20日(土)／14:00～(13:30開場予定)／11階講堂にて／先着150名／聴講無料



三熊露香「桜花叢」画帖より 寛政9年(1797) 個人蔵(寄託品)

記者レクチャー

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。スライドレクチャーにて作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

1月9日(土)／13:30より(1時間程度)／10階会議室にて(その後、8・7階展示室へご案内いたします)

参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

また、11:30より11階講堂にてオープニングレセプションを行います。

海外美術館のクーリエも参加されますので、記者レクチャーとあわせてぜひご出席ください。

次回展予告

「第47回 千葉市民美術展覧会」 会期：2016年3月5日(土)～3月25日(金)

「生誕140年 吉田博展」 会期：2016年4月9日(土)～5月22日(日)

吉田博
「エルキャピタン」
1925(大正14)年
千葉市美術館蔵



交通案内

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

Tel. 043-221-2311(代) / FAX. 043-221-2316 / <http://www.ccma-net.jp>

◎ JR 千葉駅東口より

- ・徒歩約15分
- ・バスのりば ⑦ より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分
- ・千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

◎千葉市中央区役所と同じ建物です

◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください



展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介しますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX にてご連絡ください。画像の使用は 1 回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。

千葉市美術館開館20周年記念 初期浮世絵展―版の力・筆の力―



1. 初代鳥居清倍
「二代目市川団十郎の虎退治」
正徳3年(1713)
千葉市美術館蔵



2. 杉村治兵衛
「遊歩美人図」
貞享期(1684-88)頃
シカゴ美術館蔵
Photography©The Art Institute of Chicago



3. 初代鳥居清倍
「金太郎と熊」
正徳期(1711-16)頃
ホノルル美術館蔵
Gift of James A.Michener, 1975(16576)



4. 石川豊信
「佐野川市松と瀬川菊之丞の相合傘」
宝暦(1751-64)前期
ホノルル美術館蔵
Gift of James A.Michener, 1991(21651)



5. 重要美術品 (無款)
「桜狩遊楽図屏風」
寛永期(1624-44)前期
個人蔵



6. 奥村政伸
「両国橋夕涼見大浮絵」
寛永期(1748-51)頃
ホノルル美術館蔵
Gift of James A.Michener, 1991(21630)



7. 鈴木春信
「風流やつし七小町 雨ごい」
宝暦(1751-64)末期
大英博物館蔵
©The Trustee of the British Museum



8. 懷月堂安度
「立美人図」
宝永・正徳期(1704-16)
千葉市美術館蔵

千葉市美術館開館20周年記念 初期浮世絵展一版の力・筆の力ー
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館
広報担当 行
FAX: 043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ（おおよそで結構です 例：5cm 四方、など）：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. 初代鳥居清倍 「二代目市川団十郎の虎退治」 正徳 3 年 (1713) 千葉市美術館蔵
2. 杉村治兵衛 「遊歩美人図」 貞享期(1684-88)頃 シカゴ美術館蔵 Photography©The Art Institute of Chicago
3. 初代鳥居清倍 「金太郎と熊」 正徳期(1711-16)頃 ホノルル美術館蔵 Gift of James A.Michener, 1975(16576)
4. 石川豊信 「佐野川市松と瀬川菊之丞の相合傘」 宝暦(1751-64)前期 ホノルル美術館蔵 Gift of James A.Michener, 1991(21651)
5. 重要美術品（無款）「桜狩遊楽図屏風」 寛永期(1624-44)前期 個人蔵
6. 奥村政伸 「両国橋夕涼見大浮絵」 寛永期(1748-51)頃 ホノルル美術館蔵 Gift of James A.Michener, 1991(21630)
7. 鈴木春信 「風流やつし七小町 雨ごい」 宝暦(1751-64)末期 大英博物館蔵 ©The Trustee of the British Museum
8. 懷月堂安度 「立美人図」 宝永・正徳期(1704-16) 千葉市美術館蔵

■ プレゼント用招待券申込
（ご希望の場合はチェックをつけてください）

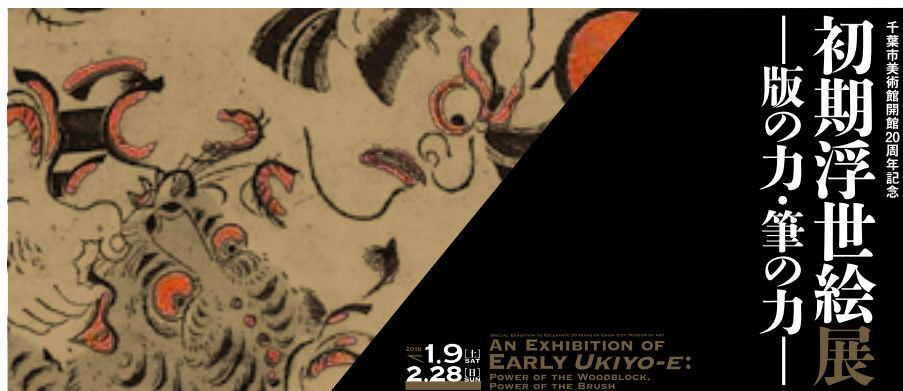
☐ 5 組 10 名様分 希望します。

（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先
ご住所：〒

問い合わせ先
千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8
Tel. 043-221-2311（代表）/ 043-221-2313（直通）
Fax. 043-221-2316
HP. <http://www.ccma-net.jp/>

担当学芸員：田辺昌子
広報担当：磯野 愛



記者レクチャー参加申込書

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。
スライドレクチャーにて作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室
をご覧ください。

1月9日(土) 13:30より(1時間程度) 10階会議室にて

※その後、8・7階展示室へご案内いたします

また、11:30より11階講堂にてオープングレセプションを行います。
海外美術館のクーリエも参加されますので、記者レクチャーとあわせてぜひご出席ください。

参加ご希望の方は下記にご記入の上、こちらの用紙を

FAX(043-221-2316) までご返信ください。

ご芳名

ご所属

貴媒体名

お電話番号

E-mail address

☐ オープングレセプション出席 (11:30~)

問い合わせ先 広報担当 磯野 愛

千葉市美術館

Tel. 043-221-2313 (直通) 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

HP. <http://www.ccma-net.jp/>